

かつしか 区議会だより

主な内容 2・3面…一般質問 4面…可決された議案ほか

NO.201 平成22年(2010年) 1月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX 5698-1543

平成21年第4回定例会

12月 3・4日	本会議(一般質問、議案の付託等)
7～10日	常任委員会
11～15日	特別委員会
16日	議会運営委員会
17日	本会議(議案の議決等)

平成22年第1回臨時会

1月 8日	本会議(議案の付託、議決等) 常任委員会 議会運営委員会
-------	------------------------------------



平成21年度葛飾区子ども区議会

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を可決

平成21年第4回定例会では、9名の議員から一般質問が行われました。また、平成21年度葛飾区一般会計補正予算(第3号)をはじめとする区長提出議案18件と、改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書などの議員提出議案10件が可決されました。

平成22年第1回臨時会では、葛飾区副区長定数条例の一部を改正する条例の区長提出議案1件が可決されました。また、葛飾区副区長の選任同意2件が決定されました。

可決された意見書(要旨)

今回の定例会では次の意見書10件を可決し、関係機関に送付しました。
(件名の下の分は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は4面に掲載)

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①改正貸金業法を直ちに完全施行すること②自治体の多重債務相談体制の整備のため相談員の人員費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること③個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること④ヤミ金融を徹底的に摘発すること

エコポイント制度並びにエコカー補助金の継続実施を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①平成22年3月末で期限が切れる「エコポイントの活用によるグリーン家電普及促進事業」及び「環境対応車への買い換え・購入に対する補助制度」を来年度以降も継続すること②現在、「エコポイントの活用によるグリーン家電普及促進事業」で対象となっているエアコン・冷蔵庫・地上デジタル放送対応テレビのほか、省エネ効果が期待される商品にもエコポイント制度の活用を検討すること

子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①ヒブワクチン及び小児用7価肺炎球菌ワクチンの有効性、安全性を評価したうえで、予防接種法を改正し、ヒブによる重症感染症(髄膜炎、喉頭蓋炎、敗血症)を一類疾病の定期接種対象疾患に位置付けること②ワクチンの安定供給のための手立てを講じること

地域のへり守るための国の予算執行及び予算編成を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①平成21年度補正予算において、国民生活や地域経済に影響を及ぼす事業について執行停止を要めること②地域住民に対する医療サービスの低下が懸念されることから、「地域医療再生臨時特例交付金」の執行停止をやめること

平成22年度予算の年内編成を求める意見書

政府に対し、地方自治体が速やかに予算編成作業に着手できるよう、平成22年度予算を年内に着実に編成することを強く求める。

高速道路の原則無料化の撤回を求める意見書

国会及び政府に対し、高速道路原則無料化の方針を撤回することを強く求める。

悉皆方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書

国会及び政府に対し、世界最高水準の義務教育を実現するために、小6・中3の全児童生徒を対象とする全国学力テストを継続して実施するとともに、その調査結果を最大限活用するなど、さらなる充実を図られることを強く求める。

国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書

政府に対し、行政府として直接地方の声を傾け、しっかりと受け止める適切な仕組みを保障するよう、強く要望する。

オリンピック準備基金の活用に関する意見書

東京都に対し、2016年の開催がなくなったことで、オリンピック準備基金の4千億円を活用し、中小企業支援をはじめ、年末年始など都民生活を守るためであることを求める。

不妊治療に対して医療保険の適用範囲拡大を求める意見書

国会及び政府に対し、不妊治療に対して、有効であると考えられる専門科における検査・治療に対して医療保険の適用範囲を拡大し、支援の拡充を実現するよう、強く要望する。

政治家の寄附は、禁止されています。また、年賀状等時候の挨拶状(答礼のための自筆のものを除く)を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金(出産・新築等)、贈り物(お中元・お歳暮等)をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く 一般質問(要旨) 詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

来年度予算の見直しと中小企業対策

来年度の予算編成の見直し

問 本区の来年度予算において、行政刷新会議による事業仕分けの影響はどのように見込まれるか。

答 見直しの評価結果が国の予算に反映された場合は、本区の予算編成にも大きな影響が生じる可能性が高い。国の予算編成の中で評価結果が本区の事業にどのような影響を及ぼすのか見極めていくことが重要と考える。

問 特別区民税や財調交付金の見直しを踏まえ、現時点における来年度の予算編成の見直しはどうか。

答 予算要求では200億円を超える歳出超過となっており、当初予算編成は、大変厳しい状況にある。こうした中、経営改革の取り組みを進めるとともに、基金などの財政対応能力を最大限に活用し、区民が安心して生活できる施策の展開を図るようとする。

※他の質問項目 今年度の特別区民税や財調交付金の見直し など

予防接種など新型インフルエンザの対応

問 新型インフルエンザのワクチン接種が受けられないという医療現場の混乱をどのように考えているか。

答 区は国や都の方針に従いワクチン接種を行うが、現段階では接種希望者に対し、ワクチンの生産量が十分ではない状況にある。今後、生産量の増加や輸入により供給が安定していけば、混乱は収まっていくと考える。

※他の質問項目 備蓄品の活用

中小企業対策

問 区長はこれまでの中小企業対策について、どのような成果があったと認識しているのか。

答 不況対策として緊急資金融資により資金調達を支援したほか、区内製造業の競争力を高めるため助成制度を

実施し、効果があった。また、観光振興に力を入れた結果、来訪者が増加し、観光振興と商店街施策との連携により成果を収めた。

問 本区の実施している施策の問題点や課題をどのように捉えているか。

答 区内事業者の発注元の多様化などのため、販路拡大の支援を広げていく必要がある。また、東京スカイツリーの開業による人の流れを視野に入れた地域の活性化をめざすことが商業振興にとって重要となる。

※他の質問項目 年末・年度末に向けた効果的な対策

ユニバーサル社会の実現を理念とした新小岩地区のまちづくり

新小岩地区のまちづくり

問 新小岩駅周辺地区を交通バリアフリー基本構想の重点整備地区に指定し、新小岩の街からユニバーサル社会の実現を目指すべきと思うが、どうか。

答 これまで懸案であった南北自由通路の整備に向けた協議がJR東日本などほぼ合意に達している。できる限り早い段階で、新小岩駅圏域を重点整備地区に指定し、関係機関と連携した一体的なユニバーサルデザイン化を優先的に進めていきたい。



新小岩東北自転車駐車場

問 新小岩地区をモデル地区として、ユニバーサル社会の実現を理念とした新小岩地区まちづくり構想などを個別の街づくり事業の上位計画として策定していくべきと思うが、どうか。

答 都市計画マスタープランでは、新小岩駅周辺地区を広域生活拠点に位置

づけ、利便性向上などに努めてきた。今後、見直しを進めている都市計画マスタープランの全体構想や地域別構想の中で、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりという考え方を位置づけていく。

※他の質問項目 ユニバーサル社会の実現に向けた人材育成 など

区役所でのユニバーサル社会の実現

問 福祉総合案内サービスやコールセンターの開設にあたり「おもてなしの心」に基づいたサービスを提供していくべきと思うが、どうか。

答 窓口を運用する側に「おもてなしの心」が備わっていないければ、利用者が満足できる窓口はできないと認識している。今後、総合窓口の設置にあたり、心のユニバーサルデザインを感じられるプラスワンのサービスができる体制づくり、人づくりに努めていく。

※他の質問項目 「おもてなしの心」を基本とした職員の意識改革 など

食育推進計画の見直し

問 栄養教諭を中心とした食育ネットワークを構築するため、地域との連携が求められると思うが、どうか。

答 栄養教諭が中心となり、食育の実践の場である地域や家庭とも連携して区民に食育を広げていくことは大きな意義がある。今後、地域や家庭への食育啓発活動を行い、食育ネットワークの構築に向けて前進させる。

※他の質問項目 食育サポーター制度の区内全域への拡大 など

自由民主党議員団

自由民主党議員団

自由民主党議員団

自由民主党議員団

問 来年度予算に、区民に真に必要な子育て支援施策や経済雇用対策などの事業を盛り込めるのか。また、本区では平成13年度から財源不足を生じさせることなく、予算編成をし

てきたが、厳しい財政状況からすると9年ぶりの財政調整基金の取り崩しなど、昨年度以上の財源対策が必要と考えるが、どのような対策を行う予定を編成していくのか。

答 非常に厳しい財政環境下であるが、子育て支援策をはじめとする中期実施計画事業や、経済雇用対策などを着実に進める予算編成を目指している。また、区民に必要なサービスに重点的に財源を投入する中で、財政調整基金の取り崩しをせず、予算編成ができるよう最大限の努力を傾けている。

※他の質問項目 財調交付金の減収など

ハローワークが行うワンストップ・サービス・デイという取り組み

問 生活保護世帯が増えていると聞くと、現在の傾向と生活保護費の急増についてどのように考えているのか。

答 生活保護受給世帯全体の増加数は、20年秋ごろを境に急増する傾向を見せ、20年度は年間48世帯、21年度は10月末までに48世帯の増となっている。一昨年のリーマンショック以後の景気動向およびそれにもなる雇用情勢の悪化を背景としたものと考えている。

※他の質問項目 ワンストップ・サービス・デイの実情 など

新型インフルエンザに対する区の対応

問 新型インフルエンザワクチンの接種の状況について伺う。

答 必要な医療を確保するという観点から、患者の治療に直接当たる医療従事者に10月末より接種を開始した。また、重症化防止の目的で、基礎疾患をお持ちの方、妊婦の方、1歳から就学前の幼児に対しては11月から開始し、小学校1年生から3年生には、平成21年12月5日から開始を予定している。

行状況と、今後どのように策定していくのか伺う。



新型インフルエンザワクチン

答 強化、大流行化、長期化したときに備え、区民に欠かせない行政サービスを継続することが必要のため、事業継続の主な考え方をまとめた新型インフルエンザが強化したときの事業継続に関する当面の整理を、9月に危機管理対策特別委員会へ報告した。今後、大流行等で職員の欠勤が増えた場合でも、区民にとって不可欠な事業を継続するため、各事業の優先度や応援体制を検討していく。

※他の質問項目 医療関係機関との連携

がん対策の推進

問 がん予防に関する施策についての考え方を伺う。

答 がん細胞を作る最大の原因は、たばこであると言われている。本区では区立施設の禁煙・分煙を進め、区内飲食店の禁煙・分煙の取り組みを支援している。また、食生活の工夫でもがんの発生を抑制できるとされているので、区民の健康を増進するための施策展開を積極的に図っていく。

※他の質問項目 がん検診の受診率向上策 など

葛飾区フィットネスパーク基本計画

問 フィットネスパークは、体育館と公園の一体整備を活かした本区が誇れる新しいスポーツ施設として、今までにない優れた特色・機能を付加す

べきと思うがどうか。

答 奥戸の総合スポーツセンターと肩を並べる、葛飾北部のスポーツの二大拠点として位置づけ、建築面積約5千㎡の体育館・温水プールをはじめ、少年野球やサッカーができる屋外運動施設など、公園全体が一体的に機能し、区民の方々のスポーツや健康づくりをサポートする公園として整備することとしている。

※他の質問項目 財政計画についての考え

葛飾区民会議

問 街づくり関連事業や福祉事業などは、借金や国等の財源を見込んで事業化されている。予想される補助金の廃止や地方への財政負担の要求拡大等の環境変化にどう対応していくのか。

答 国の事業仕分けなどが、本区の財政運営に及ぼす影響を見通すことは、現時点では難しい状況であるが、どのような財政状況でも区民の信任に応えられるよう、経営改革の取り組みを着実に推し進めて、安定的に財政運営を図っていく。

※他の質問項目 今後の財政運営など

行政改革

問 行政の透明性を拡大することによ

るべきと思うがどうか。

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

て、区と区民が共通認識の上で問題解決に当たるべきと考えるがいかか。

答 区役所改革に向けた取り組みとして行政評価制度全体の見直しを進めている。区民に理解しやすい仕組みづくりを進めることにより、行政の抱える問題点を職員と区民との間で共有できると考える。

※他の質問項目 地方財政健全化法への対応 など

鉄道の整備と運賃

正規職員および非正規職員(再任用を含む)数

問 過去5年間の職員数を各部ごとに公表し削減など区の考え方を伺いたい。答 常勤職員数は公表しているが、専門非常勤は、雇用期間などが多種多様であり、比較評価は難しい。今後も各事業の意義や執行体制等を精査し、職員数の適正化を進めていく。

千代田線の金町駅までの延伸とJRR線の増便

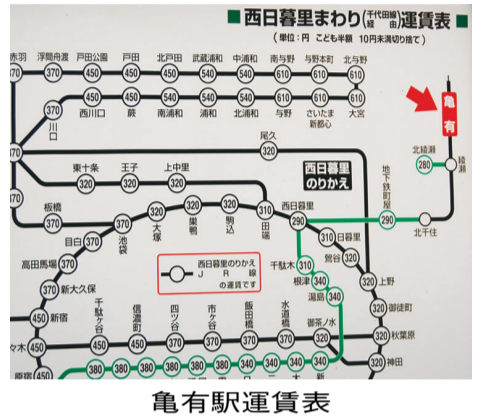
問 綾瀬駅止まりを減らすため、千代田線の金町駅までの延伸や増便などについて区の考え方を伺いたい。

答 新宿六丁目地区の開発などにより、乗降客数の増加が見込まれることから、JR東日本などに対し金町駅の利便性が図れるよう要請していく。

JRR線の西日暮里駅経由の割高運賃や二重運賃など

問 金町駅・亀有駅の割高運賃、ICカードでの二重運賃(亀有〜上野間切符320円ICカード340円)が具体的に知らされていない。考えを伺う。

答 JRとメトロの取り決めで西日暮里経由の連絡切符が買える範囲が規定されている。また、二つの運賃は、インターネット料金検索などでも表示され、利用者が選択できるものになってきている。



※他の質問項目 意見書の対応 など

新金貨物線の旅客化

問 新金貨物線(新小岩-金町)の区検討はどのように進んでいるのか。

答 事業採算性などさまざまな理由から長期構想路線としている。現在は、高齢者にもやさしいバス路線の充実に向け、周辺環境の整備などを含め、取り組んでいる状況である。

日本共産党葛飾区議会議員団

区民の暮らしを守る緊急支援策と命を守る区の姿勢を求めて

公職選挙法の改正

問 今定例会で、新区長に質問することが自然と思うが、新区長が選出されるたびに同じ問題が発生する。この状態をどのように認識しているのか。

答 法律により定められた任期を最後まで務めることは、公職を担う者としての当然の責務であり、選任していただいた区民に対する区長としての義務であると考えている。

年末年始の緊急対策

問 融資の改善として、融資利率の引き下げを実施すべきと思うがどうか。答 利子の本人負担を引き下げると緊急対応を継続し、信用保証料も30万円を限度に助成しており、当面利

子の引き下げは考えていない。問 緊急対策と最終的なセーフティネットとしての生活保護を適用しているが、緊急窓口を土日と年末年始に設けるべきと思うがどうか。

答 医療サービスを至急に必要とするなど、生活保護の緊急な対応は現在も実行している。土日と年末年始の窓口は必要ないと考えている。

問 医療機関に対して、無料低額診療の届け出を行うよう働きかけるべきと思うがどうか。

答 医療機関などから事業開始届け出についての相談があった場合には、必要な支援を行いたいと考えている。



融資相談窓口

※他の質問項目 生業資金融資 など

今後の区政運営

問 補正予算案に東京理科大学の科学技術センター基本設計等委託費が計上されているが、議会で議論をしないまま大学固有の建築物を設置するのか。

答 区議会から科学教育支援施設などを併設できないかとの要望がなされ、理科教育の充実を図っていくとの観点から、補正予算に計上したものである。これまでの検討結果を所管委員会に報告し、意見などをいただき基本設計や実施設計に反映させたい。

慈恵医大青戸病院のガン放射線治療

問 病院側から正式に撤退の回答が来たことだが、存続を願う区民の意向は変わらない。再度、要望すべきと思うがどうか。

答 今後は、要望していた小児医療・救急医療などの充実、生活習慣病に対する対応、病診連携の強化、各種健診事業の推進などについて、葛飾区医師会等の関係機関を含めた協議体の設置について協議を進め、地域における医療の中核機能がより充実されるよう努めていくべきと考える。

民主党 葛飾

地域主権と地方分権改革

地方分権

問 民主党のマニフェスト5原則の一つである「中央集権から地域主権へ」について、本区の評価を伺う。

答 「地域主権」の考え方には、未だ改革全体の概念、方向性や工程表が具体的に示されていないのが現状であり、当面はその動向を注視していく。現時点では、これまで以上に自治体の自主性を高める権限や財源の移譲が実現されていくと期待している。

問 骨太の方針で示された三位一体改革について、本区の今後の基本的な考え方を伺う。

答 地方の担う事務と責任に見合った地方財源の充実確保などの観点から、地方財政全体の抜本的改革を進めることにより、分権型社会にふさわしい地方の財政基盤を早急に確立する必要があると考える。

問 都と区の事務配分について、本区はどの程度の権限移譲を主張し、また、都と区で役割分担をしていくのか、考えを伺う。

答 区として対応できる事務はできるだけ区に移管するよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

※他の質問項目 23区の区域の再編 特別支援教育と学校図書館 特別支援教育

問 特別支援教育について見解を伺う。答 児童・生徒に個別指導を行う巡回指導員など高い評価を受けている。今後も一人ひとりの教育ニーズに応じた支援などの課題に取り組む。



立石中学校

※他の質問項目 窓口を一元化した発達障害支援体制の整備 など

理科離れ対策

問 理科離れについて本区の見解を伺う。答 科学技術センターや東京理科大学との連携など理科教育の充実を図る。

※他の質問項目 東京理科大学とわくわくチャレンジ広場事業の連携

学校図書館

問 学校図書館は、教科に合わせて指導室が中心となって運営する必要があると思うが、どうか。

答 多様な学習活動を支援する学習情報センターとしての役割を担うため、今後も整備・充実に取り組む。

今後の介護予防と高齢者施策の展望

問 事業仕分けによる介護予防事業の予算削減に伴う高齢者施策について伺う。答 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

無所属(※2)

地域の意見を十分に配慮したまちづくりを

問 この事業のこれからの方向性を伺う。また区内の他地域にも広げていくべきと思うが見解を伺う。答 今後3年間さまざまな取り組みの結果と効果を検証した上で、他地域にも広げていきたい。



ふれあいサロン

※他の質問項目 PRの課題 など

金町駅北口のまちづくり

問 区民が抱える不安を払しょくするためにどんなことを行っているのか。答 街づくりを進めるための意見交換などを行っている。今後も議会をはじめ、地域の方々とも勉強会、意見交換会などの場を積極的に設ける。

新宿六丁目のまちづくり

問 新宿六丁目公園でのテニスコートなど運動施設の設置は、近隣住民への配慮が必要と考える。またフィットネスパーク計画との関連を伺う。答 利用者の利便性と近隣住民の意見を十分配慮する。計画は互いに密接に情報交換を行い、調整を図っている。

他の質問項目 土壌改良工事

フィットネスパーク

問 特別支援学校との連携、学校の体育館、プール、駐車場などの地元開放について伺う。答 夜間や祝祭日などの開放を申し入れられている。区や地域における施設利用はメリットが大きく、東京都と協議を行いたい。

※他の質問項目 地域スポーツクラブ

次の定例会は2月に開催予定です

可決された議案等

議案名下の分は意見の分かれた議案
(各会派の賛否は下欄参照)

平成21年第4回定例会

【区長提出議案等 18件】

予算 3件

▼平成21年度一般会計補正予算(第3号)分
歳入歳出にそれぞれ28億2千220万6千円を追加し、予算総額を1千581億119万8千円とする。

▼平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出にそれぞれ8億7千741万8千円を追加し、予算総額を54億5千97万8千円とする。

▼平成21年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出にそれぞれ3千347万7千円を追加し、予算総額を70億8千834万7千円とする。

制定する条例 1件

▼証明書自動交付機の利用等に関する条例分
証明書自動交付機を導入するため、必要な事項を定める。

一部を改正する条例 4件

▼公衆便所設置及び管理条例
新小岩東北公衆便所(東新小岩一丁目18番先)を新設する。

区民農園条例

新宿三丁目農園及び水元二丁目農園を廃止する。

職員の給与に関する条例

▼幼稚園教育職員の給与に関する条例
特別区人事委員会の勧告に伴い、職員の給料表を改定するほか、所要の改正をする。

契約 8件

▼地域産業振興会館改修工事請負
▼地域産業振興会館電気設備改修工事請負
▼地域産業振興会館空調及び給水衛生設備改修工事請負
▼保健所及び子ども総合センター(仮称)電気設備工事請負

▼保健所及び子ども総合センター(仮称)空調及び給水衛生設備工事請負
▼区立石臼図書館及びびりサイクル清掃関連施設(仮称)空調及び給水衛生設備工事請負

▼証明書自動交付機システム機器の買入れ分
▼地上デジタル放送対応テレビの買入れ

その他 2件

▼青戸南第一自転車駐車場等の指定管理者の指定
▼新小岩北駐車場の指定管理者の指定

議員提出議案 10件

▼意見書(各会派の賛否は下欄参照)
意見書の要旨は一面に掲載
▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書
▼エコポイント制度並びにエコカー補助金の継続実施を求める意見書
▼子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書

意見の分かれた案件

▼地域のからしを守るための国の予算執行及び予算編成を求める意見書分
▼平成22年度予算の年内編成を求める意見書
▼高速道路の原則無料化の撤回を求める意見書
▼悉皆方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書分
▼国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書分
▼オリンピック準備基金の活用に関する意見書
▼不妊治療に対して医療保険の適用範囲拡大を求める意見書

結果の出た請願 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

採択 1件

▼改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出すること

平成22年第1回臨時会

【区長提出議案等 3件】

一部を改正する条例

副区長定数条例

副区長の選任同意

柏崎裕紀氏を選任することに同意

副区長の選任同意

久野清福氏を選任することに同意

副区長の選任同意

会派所属の変更(12月25日付)

新村秀男議員の会派所属が葛飾区民会議から無所属に変わりました。

会派所属の変更(12月25日付)

子ども区議会が開催されました

昨年12月25日、子どもたちに区議会の仕組みや議会制度についての理解と区政への関心を深めてもらうため、40人の小中学生からなる、子ども区議会が開催されました。

当日は、舟坂区議会議員、青木克徳区長をはじめ、区議会議員、区幹部職員などが出席しました。

本会議では、7人の子ども区議が議員の代表として、清潔で安全な住みやすい街づくり、地球温暖化、高齢者の医療費など、日頃、自分たちが感じていることについて一般質問を行い、区長、教育長から答弁が行われました。

また、本会議を休憩して、3つの委員会を開き、新型インフルエンザ対策、私の目標の福祉、充実した部活動を行う設備などについて、全員が活発な質問を行いました。

最後に、決議案作成委員が子ども区議会議員を代表して、「葛飾区民の生活をさらに良くするための決議」を提案しました。

決議案は、子ども区議会議員全員の意見を踏まえて検討作成したもので、決議文の提出、福祉・健康・医療の充実、環境保全とマナーの向上、学校教育の充実、安全な町づくりについて、自分たちのこととしてしっかりと考え、すぐできることから始めていくことが大切であるとして、まとめられています。

決議案は本会議で、全会一致で可決され、子ども区議会は終了しました。

広報委員会

委員長 舟坂 ちかお
副委員長 黒柳 じょうじ
委員 小山 たつや
委員 小用 信利
委員 渡辺 キヨ子
委員 中村 けいこ
委員 菱沼 実

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

平成21年12月17日現在 (平成21年第4回定例会の構成議員)

平成22年1月8日現在 (平成22年第1回臨時会の構成議員)

会派名	構成議員名
葛飾区議会公明党	荒井 彰一、黒柳 じょうじ、向江 すすみえ、上原 ゆみえ、小山 たつや、牛山 正夫、山藤 初夫、上村 やす子、出口 よしゆき、くぼ 洋一、丸山 銀一
自由民主党議員団	秋本 とよえ、小用 進、秋家 聡、筒井 孝尚、安西 俊一、西 秀明、梅 沢 五十六、沢 ちかお、倉 沢 よう次
葛飾区民会議	池田 ひさよし、新村 秀男、うめだ 信利、平田 みつよし、大高 たく、工藤 きくじ、清水 忠
日本共産党葛飾区議会議員団	おりかさ 明実、中江 秀夫、中村 しんご、三小田 准一、渡辺 キヨ子
民主党葛飾	うてな 英明、くげ しげる、佐藤 ゆうだい、中村 けいこ、米山 真吾
無所属(※1)	石田 千秋
無所属(※2)	小林 ひとし
無所属(※3)	むらまつ 勝康

会派名	構成議員名
葛飾区議会公明党	荒井 彰一、黒柳 じょうじ、向江 すすみえ、上原 ゆみえ、小山 たつや、牛山 正夫、山藤 初夫、上村 やす子、出口 よしゆき、くぼ 洋一、丸山 銀一
自由民主党議員団	秋本 とよえ、小用 進、秋家 聡、筒井 孝尚、安西 俊一、西 秀明、梅 沢 五十六、沢 ちかお、倉 沢 よう次
葛飾区民会議	池田 ひさよし、新村 秀男、うめだ 信利、平田 みつよし、大高 たく、工藤 きくじ、清水 忠
日本共産党葛飾区議会議員団	おりかさ 明実、中江 秀夫、中村 しんご、三小田 准一、渡辺 キヨ子
民主党葛飾	うてな 英明、くげ しげる、佐藤 ゆうだい、中村 けいこ、米山 真吾
無所属(※1)	石田 千秋
無所属(※2)	小林 ひとし
無所属(※3)	むらまつ 勝康

会派名	構成議員名
葛飾区議会公明党	荒井 彰一、黒柳 じょうじ、向江 すすみえ、上原 ゆみえ、小山 たつや、牛山 正夫、山藤 初夫、上村 やす子、出口 よしゆき、くぼ 洋一、丸山 銀一
自由民主党議員団	秋本 とよえ、小用 進、秋家 聡、筒井 孝尚、安西 俊一、西 秀明、梅 沢 五十六、沢 ちかお、倉 沢 よう次
葛飾区民会議	池田 ひさよし、新村 秀男、うめだ 信利、平田 みつよし、大高 たく、工藤 きくじ、清水 忠
日本共産党葛飾区議会議員団	おりかさ 明実、中江 秀夫、中村 しんご、三小田 准一、渡辺 キヨ子
民主党葛飾	うてな 英明、くげ しげる、佐藤 ゆうだい、中村 けいこ、米山 真吾
無所属(※1)	石田 千秋
無所属(※2)	小林 ひとし
無所属(※3)	新村 秀男
無所属(※4)	むらまつ 勝康